

瑞浪市 南部地区・北部地区

令和4年度

## 【地域の概要】

- 本市は、市域面積の約70%が森林で、中山間地特有の小規模な農地が多く存在している。
- 耕地面積は793ha、うち担い手への集積面積は203.5ha（集積率25.7%）
- 遊休農地面積は15.7haで、遊休率が1.98%と高い状態となっている。
- 中山間地域等直接支払交付金等を活用し、遊休農地の発生防止に努めている。

## 取組開始前の状況や課題

- 小規模で生産性の低い農地が多く、また担い手・受託営農組織が少ないため、貸し出しを希望する農地をすべて集積できない。
- 農家の高齢化及び後継者不足により、遊休農地が増加する傾向にある。

## 今後の展開と方向性

- 委員、営農組織、地域の連携による現場活動で、農地集積及び遊休農地の発生防止に努める。
- 地域全体で新規就農者を支援する。
- 引き続き、体験農園での指導を通して、農業の魅力・収穫の喜びを発信していく。

## 取組内容

○農産物等直売所「きなあつ瑞浪」と協力し、遊休農地を活用した収穫体験農園で農業指導を行っている。

○今年度は、一般市民を対象にジャガイモの収穫体験を行う予定であったため、農業委員会はその植え付け・肥培管理作業に参加した。

初夏に予定していた収穫体験は、新型コロナウイルスの影響で開催中止となり、農業委員・農地利用最適化推進委員約10名と、農産物等直売所「きなあつ瑞浪」の職員が協力して収穫作業を行った。

○収穫したジャガイモは、「きなあつ瑞浪」の買い物客に、農業の楽しさなどを周知する目的で、無料で配布した。

